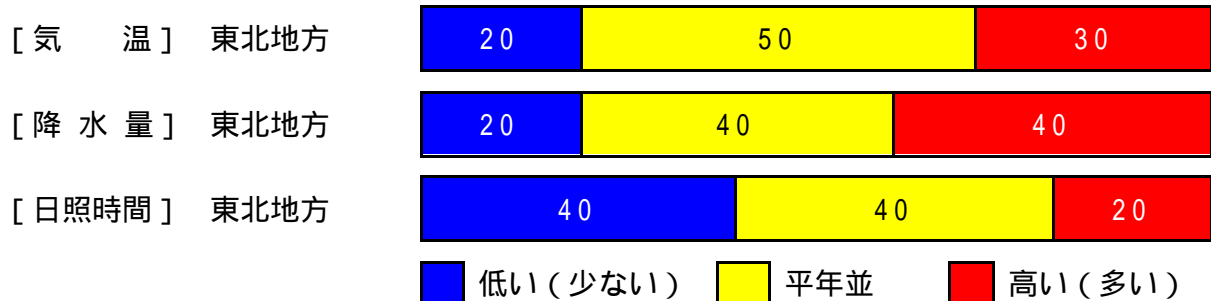


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：6 月 9 日～7 月 8 日）

平成 13 年 6 月 8 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50% です。「高い」の可能性が次に大きく、その確率は 30% です。「低い」の可能性は 20% と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「少ない」の可能性は 20% と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「多い」の可能性は 20% と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方の天気は、前線や低気圧の影響を受け易く、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。前半はオホーツク海高気圧の影響で気温の低い時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

向こう 28 日間の平年の晴れ日数：東北地方で約 11 日

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 10 日から 12 日にかけて、気圧の谷の影響で天気がくずれるでしょう。その後は東北日本海側では概ね晴れますが、東北太平洋側では曇りの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 3 日

2 週目…………… 前線や低気圧の影響を受け易く、曇りや雨の日が多いでしょう。オホーツク海高気圧の影響で一時気温が低くなるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

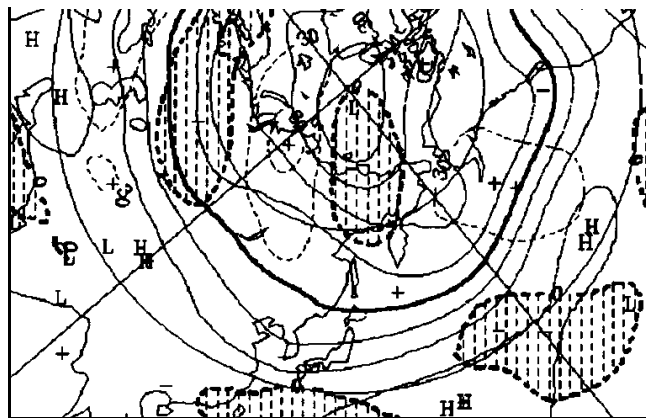
平年の晴れ日数：東北地方で約 3 日

3～4 週目…………… 前線や低気圧の影響を受け曇りや雨の日が多いですが、天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 5 日

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

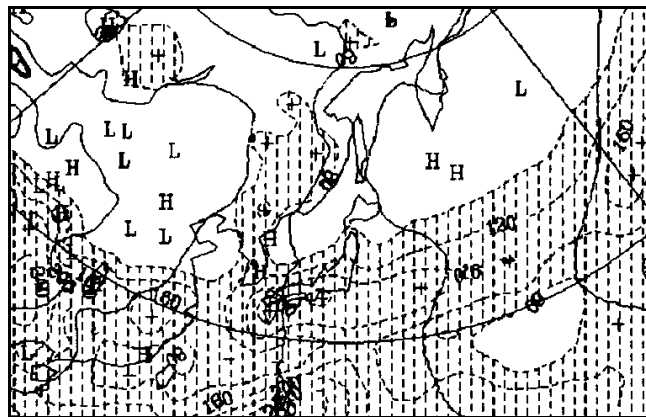


月平均の 500hPa 高度・偏差
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は正偏差に覆われる。日本の南海上は負偏差に覆われ、太平洋高気圧の西への張り出しが平年に比べて弱い。西谷傾向で前線や低気圧の影響を受け易い。

週別（図略）では、1 週目は負偏差に覆われる。東北地方は弱い東谷で寒気が入りやすい。2 週目は西谷が顕著で前線や低気圧の影響を受けやすい。また、オホーツク海には弱い気圧の尾根がみられる。3～4 週目は正偏差に覆われる。弱い西谷傾向で前線や低気圧の影響を受けるが、天気は周期的に変化する見込み。

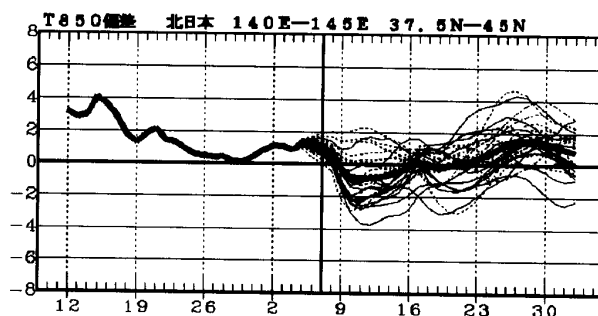


月平均の地上気圧と降水量
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、太平洋高気圧の西への張り出しは、平年に比べて弱い。一方、北海道の東にはオホーツク海高気圧が予想される。日本の南岸には梅雨前線に対応するまとまった降水域があり、東北北部まで広がる。

週別（図略）では、1 週目は降水域が東北まで広がる。また、オホーツク海高気圧がはっきり予想される。2 週目も降水域が東北北部まで広がる。1 週目に比べると弱まるが、オホーツク海高気圧が引き続き予想される。3～4 週目は、前線に対応するまとまった降水域が本州南岸で明瞭になる。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想
（縦軸：気温平年差（℃）、横軸：日付）
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

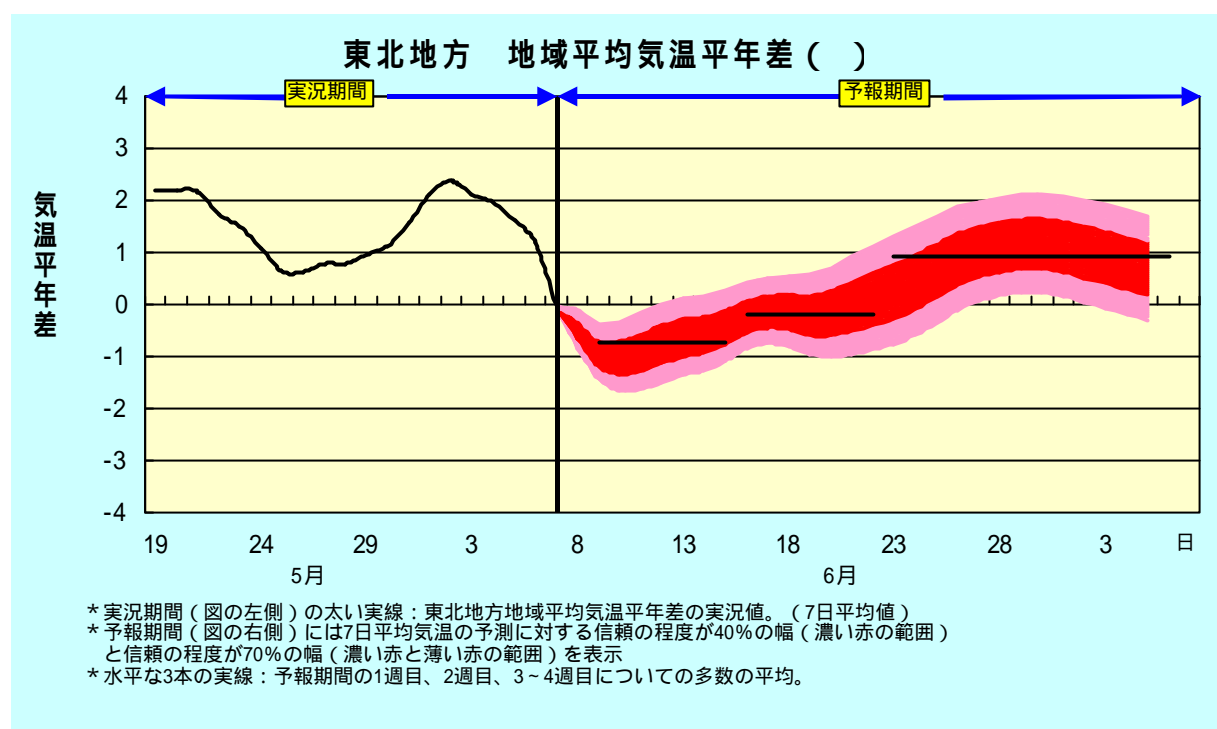
・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は 1 週目は平年より低いですが、1 週目半ばから上昇し、3 週目半ばからは平年より高く推移する。

ただし、1 週目から各メンバーのばらつきが大きく、信頼度は小さい。

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1 週目「低い」、2 週目「平年並」、3～4 週目「高い」を予測している。
 なお、予報の信頼度は小さい。

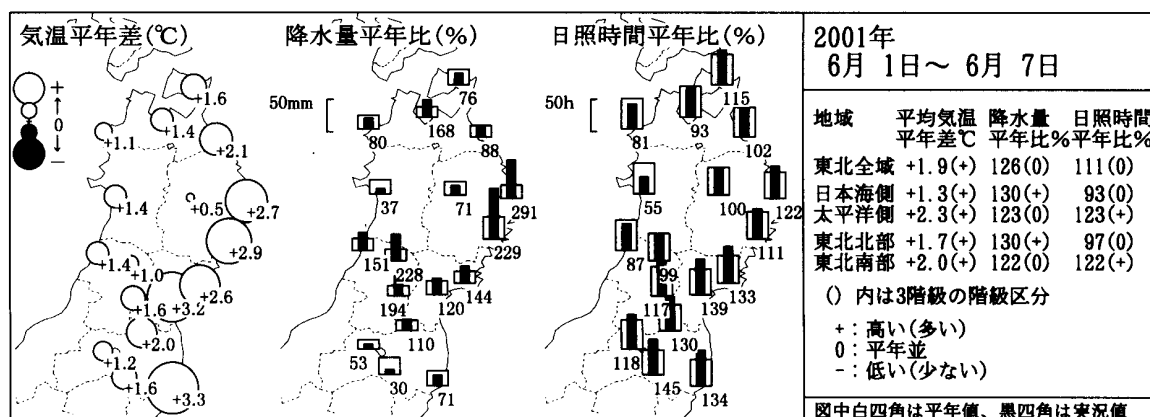


4．最近1週間（6月1日～6月7日）の天候の経過

1～3 日、東北北部は気圧の谷の影響を受け一時雨や雷雨となったが、東北南部中心に高気圧に覆われ概ね晴れた。4～5 日は東北地方は高気圧に覆われ晴れたが、6～7 日は前線や低気圧の影響で雨となった。

なお、東北南部は6月6日頃梅雨入りしたと見られる。（ただしこの梅雨入りの時期は暫定値であり、後日検証により確定したものが発表されます。）

平均気温は、東北地方で平年差+1.9 と高かった。降水量は、東北南部で平年比 122%と平年並、東北北部で平年比 130%と多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比 93%と平年並、東北太平洋側で平年比 123%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）